

第16回 時間を捻出する技術は・・・???

「工賃向上」といった新しいテーマに事業所として取り組むとき、最大のネックになるのは、それに充てる時間がない、ということでしょう。ただでさえ、定常業務で忙しいですから。仕事以外でも、何か始めようと思ったとき、やっぱり時間がなくて諦めることが多いと思います(+_+)。

では、時間を捻り出そうとするなら、どのような方法があるでしょうか。

その方法論は色々あるのですが、今回は、たった4文字で覚えやすい、「E C R S」をご紹介します。

「E C R S」とは、「排除、結合、交換、簡素化」の英語の頭文字をとったもので、改善活動のキーワードとしてよく使われるものです。

「排除する」は、「やめる」あるいは「省略する」ことです。例えば、正月の挨拶まわりをやめる、過剰な検査を一部省略する、といったことです。まずはこれを検討し、やめることができなければ以下に進みます。

「結合する」とは、例えば、理事会と職員会議を合同で行う、納品と営業活動を兼ねる、メルマガと書籍の原稿を兼ねる（・_・:）、といったことです。

「交換する」とは、順序を変えることや、別のものに代替することです。例えば、品質検査を計量より先に行う（→不良品を計量する手間が減る）、道具をより便利なものに換える、といったことです。

「簡素化（単純化、簡単化）する」とは、例えば、包装を簡易化する、業務日誌の記載項目を減らす、といったことです。

これらを徹底して行えば、定常業務に費やす時間を削減し、新たな業務に時間を充てることができます。

「E C R S」を頭に入れて、日々の仕事や生活に適用できないか、常に意識する習慣をつけるといいでしょう。

なお、「E C R S」のその他の例は、『「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集 第二部 実現へのノウハウ（平成27年度改訂版）』35ページ以下でご説明しております。

<http://www.shougai-syuurou.jp/upload/2015050814310759812.pdf>

また、本メルマガ第3回で紹介しました「5S」、第5回で紹介しました「多能工化」なども、時間捻出の方法論として利用できます。